資料1

（仮称）歴史民俗資料展示施設

基 本 構 想（案）

令和6年3月

小 牧 市

目 次

1．基本情報の整理

（1）設置の目的 1

（2）候補地の概要 1

（3）周辺環境 2

（4）ラピオの概要 3

2．展示施設コンセプト

（1）上位概念 4

（2）ターゲット 6

（3）コンセプト 6

（4）基本方針 6

3．整備方針

（1）改修の方針 7

（2）改修概要 7

4．活動方針

（1）施設活動案 8

（2）館内展示場所と連携展示テーマ例 9

5．管理運営方針

（1）運営主体 10

（2）開館時間

（3）入館料

（4）人員体制案

1. 基本情報の整理

（1）設置の目的

小牧市では、令和4年度に小牧山山頂の小牧山歴史館の展示内容を、これまでの歴史民俗資料を紹介する展示から、戦国時代の小牧山にまつわる展示へと改装を行いました。これに伴い、市内の原始・古代から近現代までの歴史や文化財を紹介するための展示施設をあらたに整備し、小牧市の歴史を市民に伝えて行くことが急務となっています。（仮称）歴史民俗資料展示施設は、郷土の歴史民俗資料を展示・活用し、市民交流の場、学びの場として、郷土愛、シビックプライドを育んで行くことを目的とします。

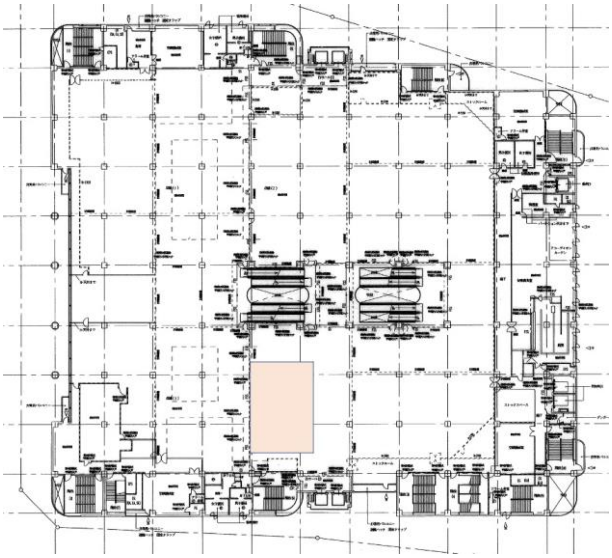
（2）候補地の概要

候補場所：小牧市小牧三丁目555番地　ラピオ4階
設置規模：約200㎡　現市民ギャラリーを改装
施設全体（ラピオ）管理：小牧都市開発株式会社

所在地

ラピオ外観

ラピオ4階候補場所（現市民ギャラリー）



市民ギャラリー

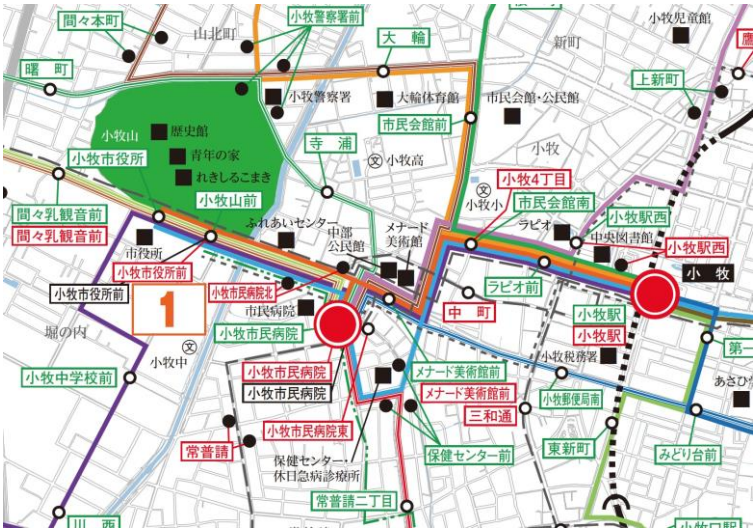
1. 基本情報の整理

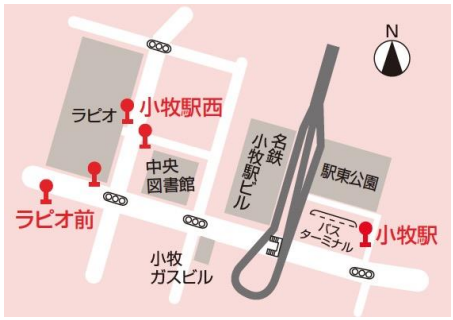
（3）周辺環境

候補場所であるラピオは、小牧駅から徒歩で5分程度、市内巡回バスのバス停も建物近くにあり、交通の便が良い場所です。また図書館が隣接し、ラピオ内にも「スポーツ施設」「市民活動センター」や「えほん図書館」「こども未来館」等の施設の他、飲食店等があり、多世代の人が集まるエリアです。さらに関連施設の小牧山歴史館、れきしるこまき、へは市内巡回バスで4停留所程度の好立地です。

ラピオ周辺地図

市内巡回バスルートと停留所





1. 基本情報の整理

（4）ラピオの概要

ラピオ内施設とその概要

階	施設と概要	運営母体	主な利用者
5	**こまき多世代交流プラザ 「まなび創造館」** ・女性センター 9:30～2:30 ホール(310席)貸出 利用料、機器貸出有り ・スポーツ広場 9:30～21:30 トレーニングジム、スタジオ、アリーナ 各利用料有料	市	多世代
4	**こまき多世代交流プラザ／ラピオ専門店街 「まなび創造館 学習広場」** ・多目的室・学習室・市民ギャラリー 9:30～21:30 貸出利用料有り ・えほん図書館 9:30～17:30 絵本や紙芝居が45,000冊が揃う図書館 利用料無料 ・こまきこども未来館 ニコニコひろば 10:00～16:30 児遊ひろば 10:00～18:00 大型児童館 市内在住者 無料	市	こども (親子)
3	**こまき多世代交流プラザ** ・こまきこども未来館 遊びひろば 10:00～18:00、 体験ひろば 10:00～19:30(中高生) 大型児童館 市内在住者 無料 ・小牧市少年センター 相談時間 火～日 9:30～12:00／月・祝 13:00～17:00	市	小・中・高生
2	**こまき多世代交流プラザ ／ ラピオ専門店街** ・こまきこども未来館 交流ひろば 10:00～20:00 大型児童館 市内在住者 無料 ・こまき市民交流テラス「ワクティブこまき」 NPO こまき市民活動ネットワーク 月～土 10:00～21:00／日 10:00～17:30 市民活動の支援、マッチング等 ・専門店 ダイソー 10:00～20:00	市 指定管理	こども (親子) 大人
1	食品のフロア 10:00～19:00、10:00～20:00 ※店舗による	ー	大人
B1 B2	市営駐車場(415台収容) 7:00～22:00	市	ー

ラピオの4階は、こどもを対象とする施設が多く、えほん図書館など連携を組みやすい施設があるため、(仮称)歴史民俗資料展示施設の設置により、未来の小牧を担う子育て世代(こどもを含む)に小牧市の歴史を知ってもらう機会を提供できるとともに、4階全体としてのさらなる活性化が期待できます。
また、4階は学習室や多目的室などの貸しスペースもあることから、定期的に展示を拡大する事ができ、(仮称)歴史民俗資料展示施設に展示しきれない多くの貴重な資料や、発掘調査の最新情報を公開できる有効な場所です。

2. 展示施設コンセプト

（1）上位概念

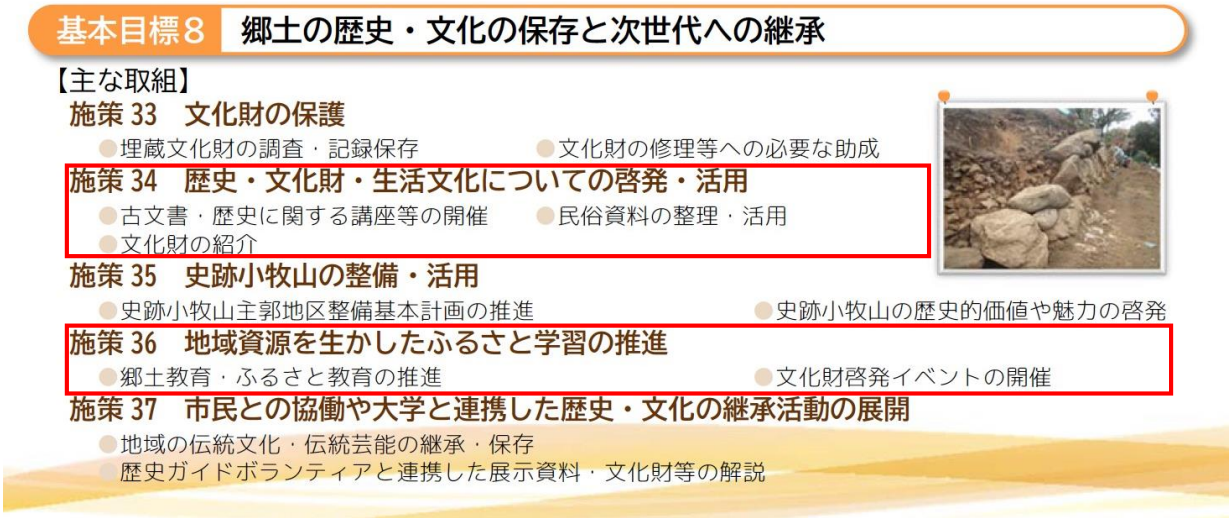
（仮称）歴史民俗資料展示施設が市の施策のどの一端を担うのか、その役割を確認します。

1）小牧市まちづくり推進計画

市が目指す「都市ビジョン」達成に向け、小牧固有の歴史・文化遺産を保護・保存・活用していきます。

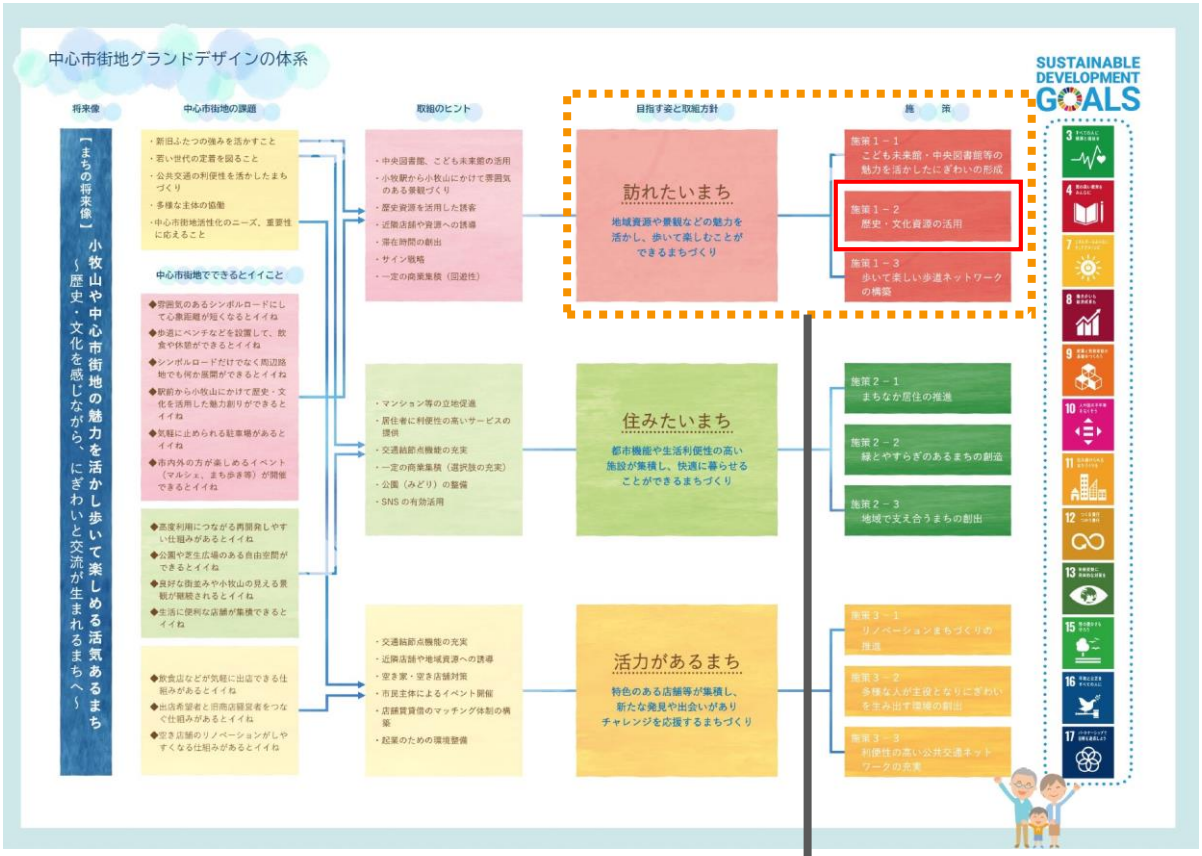
2）小牧市教育大綱

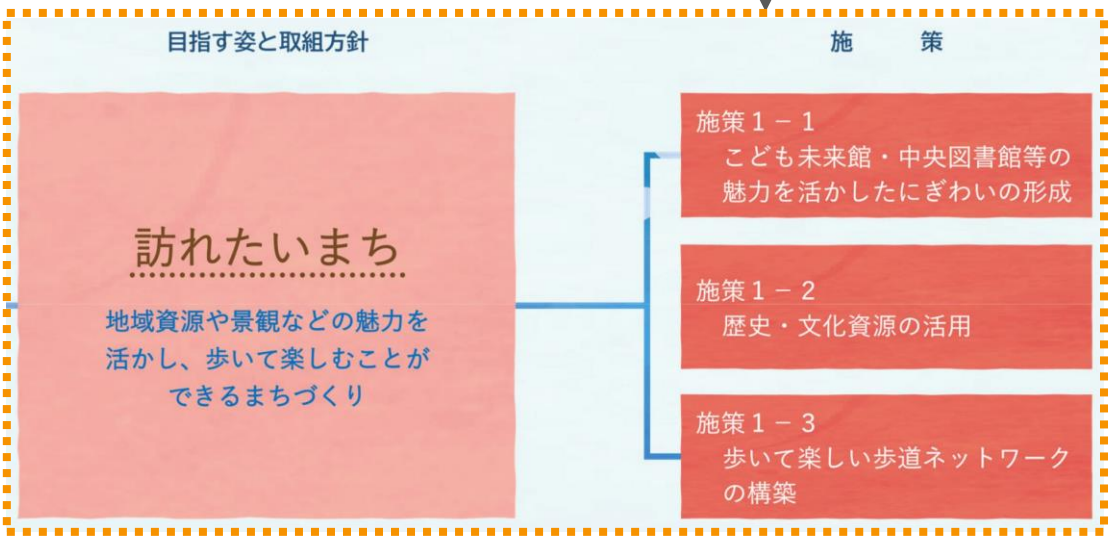
都市ビジョン実現のために、小牧市教育大綱では「郷土の歴史を礎に、市民とともに愛と夢、生きる力を育む」を基本理念に、8つの基本方針を掲げています。当施設は基本目標8「郷土の歴史・文化の保存と次世代への継承」を担い、歴史・文化財・生活文化についての啓発・活用、地域資源を生かしたふるさと学習の推進を目指します。



3）中心市街地グランドデザイン

歴史･文化資源の活用を通して、まちづくりにも貢献していきます。





2. 展示施設コンセプト

（2）ターゲット

メインターゲット ➡ **小牧市の歴史に触れてみたい人（市民）**

サブターゲットは ➡ **市外からの来訪者**

施設の目的を達成するために、多くの市民(こどもを含む)に、小牧の歴史と文化に触れてもらい、興味を持ってもらいます。自分たちの足元にある脈々と続く人の営み、身の回りにある他に誇れる小牧の文化財に気づいてもらい、郷土愛が育まれる基盤を作っていきます。また、市外からの来訪者にとっても、小牧がどのような場所であったかを分かりやすく端的に伝えられる場とします。

（3）コンセプト

「こまき」の「スゴイ」を発見！

「歴史＝年号を覚える。」という苦手意識を払拭し、自分たちが暮らす小牧の歴史の凄さを体感的に伝えます。当時を彷彿とさせる遺跡、史跡のスケール感、そこに生きた人々の痕跡を実物の資料とともにストーリーとして伝えていきます。「こまき」の「スゴイ」にだれもが気づく場とします。

（4）基本方針

○ 実物と出会う機会とする

歴史施設ならではの「実物が見られる」という、貴重な体験を提供する。
実物資料を通して、歴史は実際にあった事、実際に生きていた人たちが今に繋いできた物語であることとして捉えてもらう。

○ 「モノ」「コト」に潜むストーリーを伝える

実物資料や遺跡などを、単なる紹介に留めず、その裏にある情報を伝えていく。
歴史を結果として捉えるのではなく、さまざまな事象からなりたっていることを、分かりやすく、興味を惹く手法で伝えていく。

○ 周辺施設と連携し、歴史・文化と出会う場を広げていく

広く小牧の歴史・文化を市民および未来を担うこどもたちに伝えるために、周辺施設と連携し、当施設から歴史・文化に出会う場を広げていく。

3. 整備方針

（1）改修の方針

市民ギャラリーから展示施設への改修を行うにあたり、改修方針を以下のとおりとします。

○ 安全に配慮する

大人も、こどもも、シニアも、誰もが安心して歴史と出会い、楽しめる場とするために、素材や形状に配慮し、安全に過ごせる場としていきます。

○ 資料展示施設として、防犯・防火に配慮する

小牧市に残る貴重な実物資料を展示する施設として、防犯・防火に配慮した素材選定や施工方法を検討していきます。

○ 既存設備は可能な範囲で活用をする

環境配慮への観点から、展示内容により既存部分の活用場所は異なるが、可能な範囲で既存の造作、設備を有効活用していきます。

（2）改修概要

○用途変更は無し

○建築関連
- 周壁はそのまま使用し、グラフィック等での演出を検討する。
  ※展示プランにより、一部扉開口部分を改修する可能性あり。

○電気・照明
- 電気容量等は問題ないため、現状の配分のまま使用。
- 照明は配線ダクトがLED仕様ではないため、LED用のダクトに交換。
- 照明器具はミュージアム仕様のLEDスポットライトに交換。

○空調設備
- 現状のまま使用。

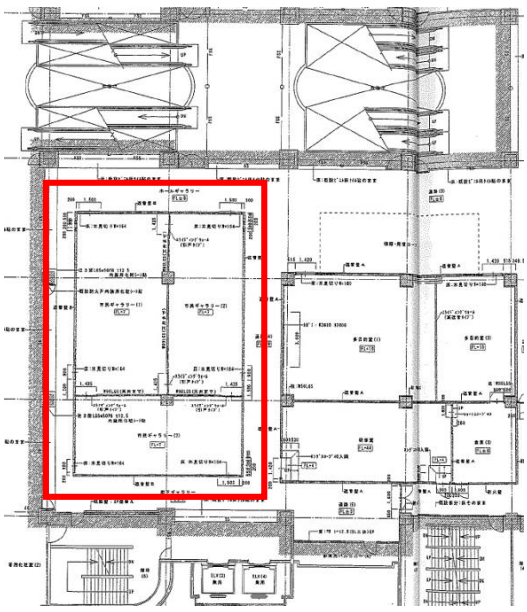
○防火設備
- 現状維持を基本とする。

※展示プランにより誘導灯、自火報の移動の可能性あり。

○資料保護設備（防犯・防火）
- 扉を耐火仕様に改修（鍵も防犯に強いものに変更）。
- 資料はケースにて展示（ノンエアタイト）。監視カメラの設置、有人での対応は検討中。

現状：ラピオ
・開館時間中は共用部の巡回警備。閉館後は機械警備。
・市民ギャラリー四周壁は1時間耐火の不燃材。
・延焼を防げる。消化設備はスプリンクラー。

市民ギャラリー平面詳細図



展示構成（案）、展示手法は基本計画へ

（1）施設活動（案）

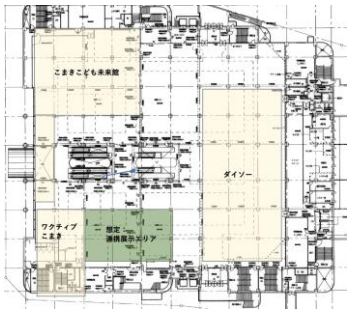
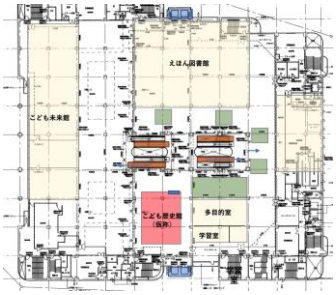
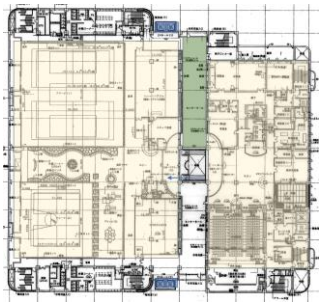
（仮称）歴史民俗資料展示施設の目的達成のために必要な施設活動を以下に示します。
施設規模や連携先との今後の調整やコスト面等の諸条件で取捨選択をし、当施設にふさわしい活動を検討していきます。

項目		内容	区分	備考
展示活動	常設展示	市内に残る貴重な資料を公開するとともに、小牧の歴史・文化的特徴を伝えます。	A	―
	展示更新	年に2回程度の資料更新を実施。資料保護の観点、飽きの来ない展示とするために、公開する資料の入替を行います。	B	学芸員およびそれに相当する人
	展示解説	こども用解説シートの作成・更新。こどもには、疑問をなげるシートやクイズシートを用意し、そのシートは定期的に更新します。	A	
		大人用解説の更新。大人には、QRコードや既存の解説ソフト等を使い、より深い解説を提供します。研究が進んだり、新たな発見があった場合には内容を更新します。	A	
		展示見学サポート。展示の楽しみ方や見方、シートの使い方などを促したり、疑問を投げかけたりします。	A	ボランティアや活動団体とのコラボ可
体験活動		講習会やWSの実施。長期休暇時や土日などに展示説明ツアーや遺跡の解説などを行い、この施設をきっかけにより多くの人に小牧市の歴史・文化を知ってもらう機会を増やします。	B	
		展示室内で、簡単にできるWSを用意。数分で出来るもの、時間が少しかかるものなど、こどもの興味に合わせた体験が提供できるようにします。	B	
連携活動	館内連携	ラピオ内「まなび創造館」「ワクティブこまき」、「こまきこども未来館」「えほん図書館」と連携した企画展示を行います。	B	学芸員およびそれに相当する人
	関連施設連携	「小牧山歴史館」「れきしるこまき」等と連携し、周辺地域の回遊を促す周遊パスを発行します。	A	―
		「小牧山歴史館」「れきしるこまき」等と連携し、市内回遊を促すスタンプカードの発行、解説付き周遊ツアー等を実施するなど、連携活動を提案実施します。	B	ボランティアや活動団体とのコラボ可
		「中央図書館」内郷土資料エリアや１階イベントスペースでの連携展示を実施します。	B	
	学校連携	学校利用に対しての学習シートや体験WSを用意します。	B	学芸員およびそれに相当する人
（販促活動）		多くの人に何度も訪れてもらうためのツールの発行やイベント・WSを実施します。	B	

区分凡例　A:オープン当初より実施　B:数年後の実施を目指す　C:実施しない

（2）館内展示場所と連携展示テーマ例　※緑の範囲が連携展示エリア

ラピオにはさまざまな施設があり、大人からこども、中学生・高校生と様々な人に利活用されています。（仮称）歴史民俗資料展示施設だけでは語りきれない、民俗や発掘調査報告、季節や祭り等に関連する企画展などは、ラピオ全体を活用し多くの人に小牧市の歴史を伝えていきます。

連携展示場所（案）		連携先と業務内容	連携展示内容（案）
2階		こまき市民交流テラス 「ワクティブこまき」 市民活動団体への助言・サポート、市民活動、ボランティア活動、地域活動、生涯学習の情報発信や連携を図る施設	「ワクティブこまき」北側空きスペースを利用して、企画展示を行います。 ＜展示内容＞ ・発掘調査報告展示 ・民俗資料展示　など ※ワクティブで連携できる活動団体等をマッチングしてもらい「マッチング展示」なども可能と思われます。
4階		えほん図書館 乳幼児から小学校低学年向けの絵本、紙芝居がある。 約45,000冊 こまきこども未来館 大型児童館。3層を使ったネット遊具、ものづくりや音楽など様々な事ができる施設	4階はこどもを対象とした施設が多い。えほん図書館と繋がる廊下、多目的室前の広いスペースを使い、こども向けの展示をします。 ＜展示内容＞ ・月1回絵本を選定し、それにちなんだ展示をする。 例） 〇衣食住に関連する展示 →「ぐりとぐら パンケーキと呪文クッキー」 〇動・植物、怪獣・おばけに関連する展示など →鏡や土器等の文様や、古墳の副葬品などと展示
5階		小牧市まなび創造館 女性センター スポーツ広場 ホールや研修室・料理室・和室等の各種貸室、バレーボールコートやアリーナ、トレーニングジム・フィットネススタジオなどがあり、様々な活動に利用できる施設	5階のセンターモールは、廊下の突き当りの大きな窓から、小牧山と小牧山城が望める絶景ポイント。スポーツや観劇など大人が集まる場所でもあるため、大人向け、小牧山、小牧山城に関連した展示をします。 ＜展示内容＞ ・城下町に関連する展示 ・信長・家康に関連する展示（小牧山城の歴史館と連携）

【2階】ワクティブ前スペース

【4階】学習室前の廊下

【5階】センターモール

5階の窓から見える小牧山

5. 管理運営方針

施設目的、コンセプト等を実現するための管理運営方法の検討をします。 以下検討中

（1）運営主体

（2）開館時間

（3）入館料

（4）人員体制案